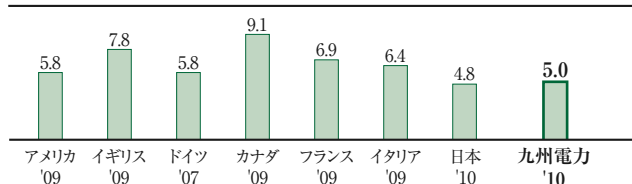


d 送配電ロスの低減

発電所で作り、お客さまのもとにお届けするまでに送電線や配電線で失われる電気（送配電ロス）の低減に努めており、当社の送配電ロス率は、国際的にも低い水準を維持しています。

送配電ロス率の各国比較

単位：%



出典：電気事業便覧（平成23年版）より作成

(3) 電気の使用面での取組み

お客さまへの「省エネ快適ライフ」の推進や当社事務所等における一層の省エネ推進により、電気の使用面でのCO₂排出抑制に取り組んでいます。

a お客さまのCO₂排出抑制

「省エネ快適ライフ」の推進やエネルギーの総合提案により、お客さまのCO₂排出量を年間9万トン（約7.2万世帯分*の電気の使用に伴うCO₂排出量に相当）抑制することを目指しています。

2010年度はエコキュートの普及（2009年度末から約6.9万台増）などにより、お客さまのCO₂排出量の抑制目標を達成しました。

*：当社のモデル家庭（電気の使用量：300kWh/月）ベース。CO₂排出量の試算には、当社の2010年度販売電力量あたりのCO₂排出量（CO₂排出クレジット反映後）を使用。

(a) 「省エネ快適ライフ」の推進

地球環境問題、資源エネルギー問題への意識の高まりを踏まえ、お客さまにムリなくムダなく電気を上手に使っていただき（省エネルギー）、快適で環境にやさしい生活をお送りいただく「省エネ快適ライフ」を推進しています。

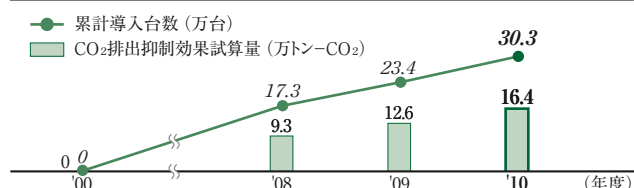
● エコキュートの普及

エコキュート（CO₂冷媒ヒートポンプ給湯機）は、自然にある空気の熱を有効に利用するヒートポンプ給湯機です。使用する電気エネルギーの3倍以上の熱エネルギーを得られるため、従来型燃焼式給湯器に比べ、CO₂の排出を抑制することができます。このため、中長期的な省エネ・温暖化対策としての可能性を有しています。



エコキュート

家庭用エコキュート導入に伴うCO₂排出抑制効果試算量



(注1) 「エコキュートによる給湯（当社電力使用、APF3.0）」－「従来型燃焼式給湯器による給湯（都市ガス使用、効率80%）」のCO₂排出抑制効果試算量。
 (注2) CO₂排出抑制効果試算量は、給湯の年間負荷18GJのモデルケースで算定（エコキュートの電気使用量：139kWh/月、従来型燃焼式給湯器の都市ガス使用量：42m³/月）。なお、地域、機器効率、使用条件などによって異なる。
 (注3) 販売電力量あたりのCO₂排出量は、当社の各年度実績値（CO₂排出クレジット反映後）を使用し、都市ガスの熱量・CO₂排出係数は、地球温暖化対策の推進に関する法律の「算定・報告・公表制度」における算定方法・排出係数を使用。

● 省エネのPR

お客さまにムリなく省エネに取り組んでいただけるよう、省エネに関する情報を分かりやすく紹介したパンフレットを配布するとともに、ホームページなどでも積極的に省エネのPRを行っています。また、各営業所にホームアドバイザーを配置して、電気の上手な使い方などを紹介する講座を開いています。

詳細は九州電力ホームページ
 関連・詳細情報 (P13参照) > よくわかる電気の省エネ

(b) エネルギーの総合提案

環境意識や快適志向など、法人お客さまの抱える様々な課題・ニーズに対してきめ細やかな対応を行うため、省エネコンサルティングやエネルギー効率の良い電気式空調・電化厨房等のご提案など、当社及びグループ会社の経営資源を活用したエネルギー全般に関するお客さまからのご要望・ご相談にお応えしています。

なお、東日本大震災以降は、省エネ、節電に関する活動を中心に取り組んでいます。

詳細は九州電力ホームページ
 関連・詳細情報 (P13参照) > 各種サービス

b 事務所における省エネ・省資源活動の一層の推進

お客さまの省エネを積極的にサポートする事業者として、当社自らの省エネ・省資源活動を一層推進しています。

(a) オフィス電力使用量の抑制

2010年度のオフィス電力使用量は、日常業務における省エネ活動の徹底に加え、照明設備更新などの設備対策により81百万kWhとなり、目標を達成しました。

オフィス電力使用量

単位：百万kWh

